



公益財団法人

どうぶつ基金

ANIMAL ACTION FUND

宮崎さくらねこ無料不妊手術

2020～2025年度実績 計：**16,080** 頭



CONTENTS

目次

- 01 不妊手術実施状況と殺処分数の推移
- 02 さくらねこ無料不妊手術チケット実施状況
- 03 多頭飼育救済
- 04 宮崎県 協力病院一覧
- 05 参考資料
(宮崎県・宮崎市の独自事業実績)
- 06 総評・まとめ

不妊手術総数と殺処分数の推移（2020年～2025年の実績）

▼どうぶつ基金が宮崎県下で実施した無料不妊手術

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	Total
チケット	1,352	3,273	3,419	2,253	2,363	3,420	16,080
出張手術	—	—	—	—	—	—	0
合計	1,352	3,273	3,419	2,253	2,363	3,420	16,080

▼宮崎県下における猫の所有者不明の幼齢猫の引き取り数（環境省資料より）

所有者不明幼齢猫 引き取り数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	Total
宮崎市	147	134	134	132	107	未公表	654
宮崎県（宮崎市除く）	319	366	381	301	241	未公表	1,608
宮崎県全域	466	500	515	433	348	未公表	2,262
※全国	27,854	20,692	17,483	14,205	11,062	未公表	91,296

▼宮崎県下における猫の殺処分数（環境省資料より）

殺処分数	2020	2021	2022	2023	2024	2025	Total
宮崎県全域	145	114	101	124	59	未公表	543

さくらねこ無料不妊手術チケット実施状況

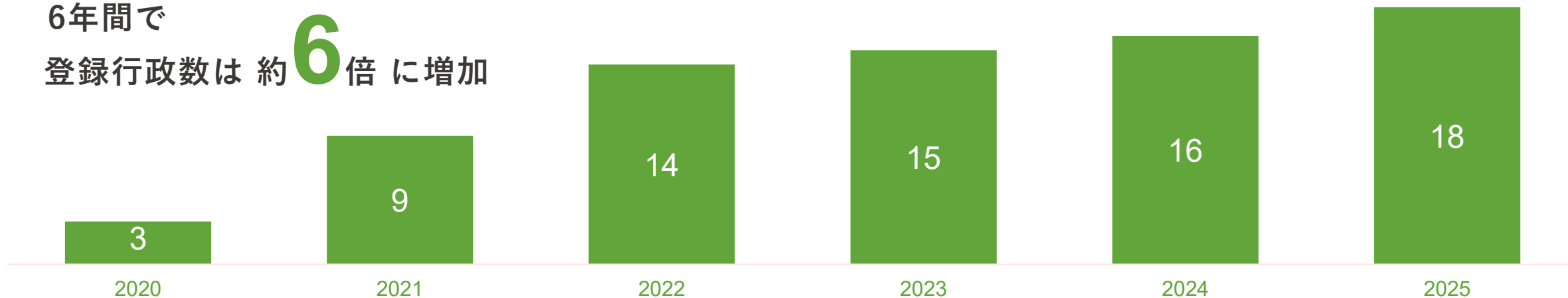
▼チケットの実施状況

	2020	2021	2022	2023	2024	2025	Total
行政枠	1,169	3,273	3,403	2,247	2,302	3,400	15,794
一般枠、団体枠	183	—	16	6	61	20	286
合計	1,352	3,273	3,419	2,253	2,363	3,420	16,080

▼登録行政数の推移状況

	2020	2021	2022	2023	2024	2025
登録行政数の推移	3	9	14	15	16	18

6年間で
登録行政数は 約 **6** 倍 に増加



さくらねこ無料不妊手術チケット実施状況

▼協働行政：地方公共団体および準ずる団体（行政が管理する施設の管理者） ※2026年3月31日現在、順不同

2025年度 登録行政一覧（18団体）

- ・日向市
- ・日南市
- ・高千穂町
- ・木城町
- ・美郷町
- ・三股町
- ・国富町
- ・延岡市
- ・都城市
- ・小林市
- ・五ヶ瀬町
- ・新富町
- ・都農町
- ・門川町
- ・日之影町
- ・えびの市
- ・高鍋町
- ・宮崎県動物愛護センター



多頭飼育救済（2020年～2025年）

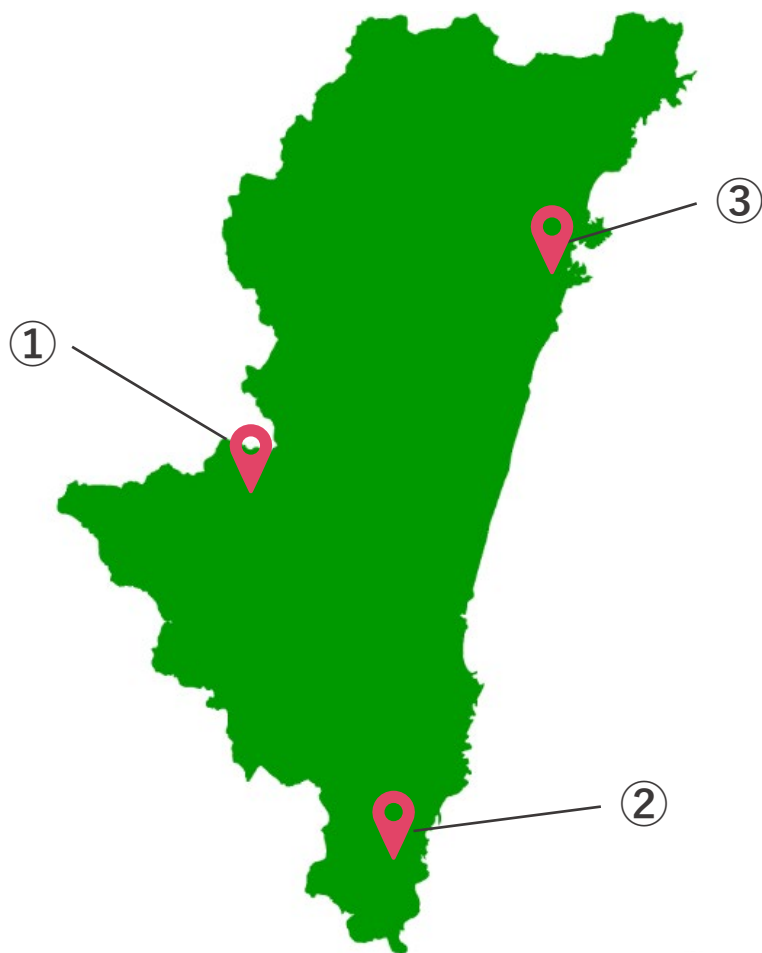
▼多頭飼育救済の実施状況

実施年度	2021		2022		Total
地域	宮崎市	高千穂町	三股町	日南市	—
居住環境	戸建て・持ち家	戸建て・借家	戸建て・持ち家	戸建て・持ち家	—
生活保護	有	無	無	無	—
家族構成	70代夫婦	70代夫婦	一人暮らし	50代夫婦 80代父母 子ども3人（成人）	—
手術数	16	19	15	25	75

宮崎県における多頭飼育救済の実施状況は

実施回数 **4** 回、手術数 **75** 頭。

宮崎県の協力病院一覧（2026年3月31日時点）



【協力病院名一覧】

- ① はちどりTNR病院宮崎分院（小林市）
- ② 鵜戸どうぶつクリニック（日南市）
- ③ にじのはしスペイッククリニック美々津診療所（日向市）

協力病院合計 **3** 病院

▼宮崎県「飼い主のいない猫適正管理事業」取組実績

	2021	2022	2023	2024	2025	Total
県動物愛護センター	1,009	1,626	1,179	939	669	5,422
協力動物病院等	2	0	274	558	593	1,427
合計	1,011	1,626	1,453	1,497	1,262	6,949

参照：宮崎県「飼い主のいない猫適正管理事業」

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/eiseikanri/kurashi/aigo/20260127165344.html>

▼宮崎市「飼い主のいない猫との共生活動の支援」支援実績

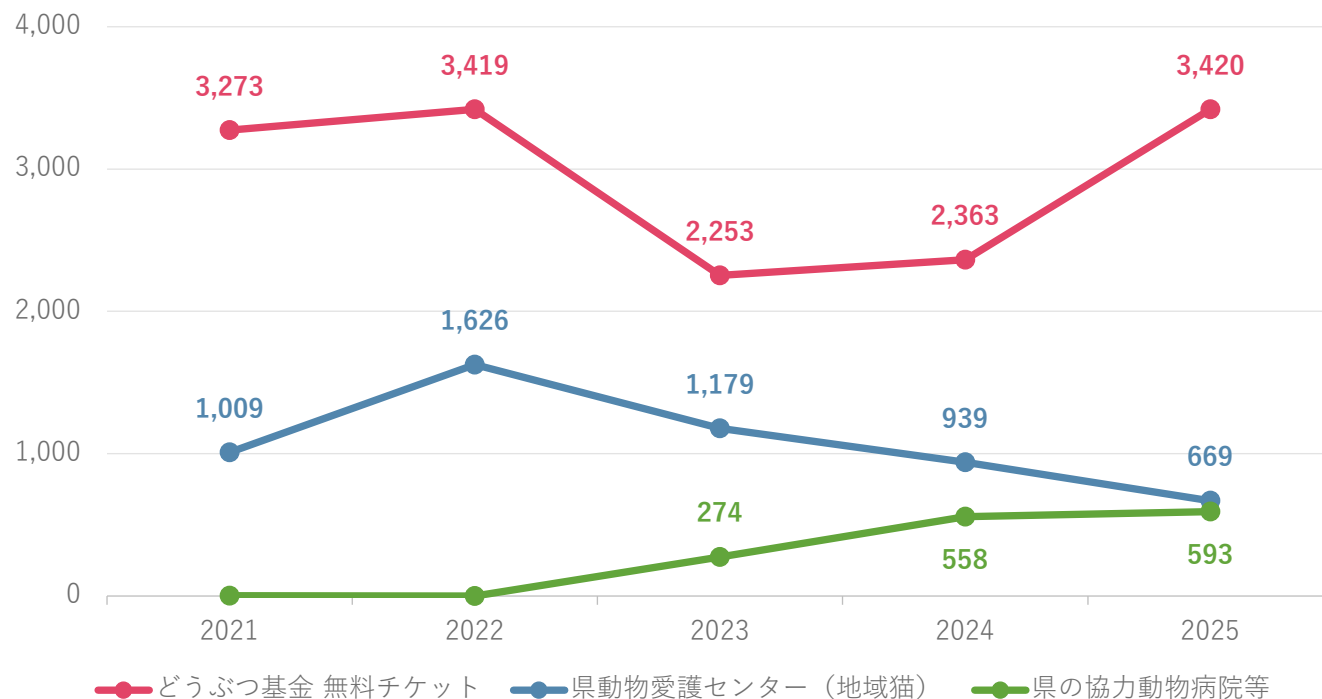
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	Total
手術頭数	362	96	239	891	1,175	未公表	2,763

参照：宮崎市「宮崎市保健所の概要【令和7年度版】」P.80

https://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/fs/8/6/3/3/6/9/_/863369.pdf

総評① 地域猫登録の減少は「課題の解決」ではない

▼県の地域猫事業とどうぶつ基金チケットの手術数の推移



県動物愛護センター（地域猫）の手術数

— 957 頭

2022年度 1,626頭 → 2025年度 669頭（約59%減）

どうぶつ基金 無料チケットの手術数

+ 1,167 頭

2023年度 2,253頭 → 2025年度 3,420頭

所有者不明の幼齢猫の引取り数（県全域）

348 頭

2024年度も依然として発生（2020年度 466頭）

総評

県動物愛護センターの手術は「地域猫として認定された地域」が対象で、認定には住民合意など市民側の負担が伴います。一方、どうぶつ基金の無料チケットは不妊手術に加えてワクチン接種・ノミダニ駆除薬も無料で付帯します。

県センターの手術数が減り続ける一方でチケットの利用は伸びており、県内の手術需要（チケット＋県事業で年間約3,700～5,000頭）は減っていません。地域猫登録の更新減少は課題が解決したのではなく、手術の受け皿がどうぶつ基金チケットへ移動していることを示しています。

総評② 行政サービスの向上に向けて

▼今後、確認・検証が必要な事項

- 1 県センターの手術数が2022年度以降減少している具体的な理由
(地域猫登録の新規・更新状況を含む)
- 2 地域猫認定の要件・手続き・住民合意にかかる市民負担の実態
- 3 地域猫に認定されていない野良猫が、県の制度でどの程度手術につながっているか
- 4 県センターと協力動物病院等の役割分担で、県全体の手術需要をカバーできているか

▼アンケート調査の必要性

県事業に関するアンケート調査の実施

対象

地域猫登録団体（登録・更新を見送った団体を含む）、協力動物病院、市町村

主な調査項目

登録・更新を見送った理由／認定要件・手続き・住民合意の負担感／どうぶつ基金チケット等、他制度の利用状況

期待される効果

実態に即した制度の見直しと、市民が利用しやすい手術体制の整備による行政サービスの向上

まとめ

宮崎県の猫の不妊手術は、県・協力動物病院・どうぶつ基金など複数の主体によって支えられています。「地域猫として認定されているか」という制度上の区分にとらわれず、市民の負担を抑えながら**手術を必要とする猫に一匹でも多く手術機会を届ける**という視点で、アンケート調査等による実態把握と、県全体の不妊手術体制の検証・改善が必要と思われます。